



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年5月11日

上場会社名 スターツ出版株式会社
 コード番号 7849 URL <http://starts-pub.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 菊地 修一
 (氏名) 金子 弘
 TEL 03-6202-0311

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	1,072	10.7	191	175.4	196	168.1	138	233.2
28年12月期第1四半期	968	5.5	69	15.6	73	15.1	41	14.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	71.96	
28年12月期第1四半期	21.60	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	4,803	3,829	79.7	1,994.46
28年12月期	4,530	3,692	81.5	1,923.36

(参考)自己資本 29年12月期第1四半期 3,829百万円 28年12月期 3,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		30.00	30.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	7.1	150	93.3	190	56.0	100	29.1	52.09
通期	4,350	8.5	350	1.1	400	0.2	210	7.2	109.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	1,920,000 株	28年12月期	1,920,000 株
期末自己株式数	29年12月期1Q	78 株	28年12月期	78 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	1,919,922 株	28年12月期1Q	1,919,922 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などの効果もあり雇用情勢・所得環境の改善が継続し、景気は総じて緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、アジア新興国経済の減速や英国のEU離脱問題、米国新大統領の政策動向等を背景とした海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社が属する出版業界におきましては、近年のスマートフォン等の情報端末の普及、情報伝達手段の多様化によるライフスタイルの変化に大きく影響を受けており、紙出版の雑誌、書籍の売上が連続して減少し、市場は緩やかに縮小しております。一方、電子出版は紙出版と比較して規模は小さいものの売上が増加しており、電子書籍・雑誌の定額制読み放題サービスなど新たなサービスも拡大しております。

このような環境の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という経営ビジョンのもと、既存の出版社の枠にとらわれず「メッセージやストーリーの詰まったコンテンツとサービスで、新たな時間の使い方や、ライフスタイルを提案し、感動の輪を広げる」ことを目的とし、紙・電子出版による雑誌、書籍、コミックの発行、女性向けWEBサイト「オズモール」、ケータイ小説投稿サイト「野いちご」等のWEBサイトの運営、オリジナルイベントの開催とそれらを掛け合わせたコンテンツ展開を軸として事業を運営してまいりました。また、当期の経営戦略として、外部販促を含めた販売施策の強化等による既存事業の規模拡大と、人材の増強とシステム開発投資による事業基盤の強化を推進しております。

このような営業活動の結果、当第1四半期累計期間の売上高は10億72百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は1億91百万円（前年同期比175.4%増）、経常利益は1億96百万円（前年同期比168.1%増）、四半期純利益は1億38百万円（前年同期比233.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<東京マーケティングドメイン>

東京マーケティングドメインにおきましては、東京圏で、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、「厳選店舗マーケティング」と「体験価値マーケティング」を軸に事業を展開してまいりました。

「厳選店舗マーケティング」は、「オズモール」（会員数：270万人）の成功報酬型の送客サービス「オズのプレミアム予約」シリーズを中心に展開し、独自基準で厳選したビューティサロン、ホテル、レストランなどの利用予約サービスを提供しております。送客手数料売上につきましては、前事業年度より積極的に取り組んでいる予約可能施設の拡充などの施策が奏功し、前年同期と比較して増加しております。

「体験価値マーケティング」では、「オズモール」や本年6月に創刊30周年を迎える女性向けライフスタイル誌「オズマガジン」、フリーマガジン「メトロミニッツ」などのメディアを展開しております。当第1四半期累計期間は、「オズマガジンプラス」の発行を誌面リニューアルに伴い隔月刊から季刊に変更し、雑誌の発行点数が減少しておりますが、「オズマガジン」の売上が好調に推移したことにより、前年同期と比較して雑誌の販売売上は増加しております。広告売上につきましては、商業施設などをターゲットにした「街」、地方自治体などをターゲットにした「旅」をテーマにした広告商品が奏功し、前年同期と比較して増加しております。費用面におきましては、前事業年度より取り組んでおります雑誌制作体制の見直しにより、前年同期と比較して制作コストが減少しております。

このような営業活動の結果、東京マーケティングドメインの売上高は8億8百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は1億12百万円（前年同期比142.4%増）となりました。

<投稿コンテンツドメイン>

投稿コンテンツドメインにおきましては、ターゲット別小説投稿サイトの運営と書籍の発行を継続的に行っております。小説投稿サイトにおきましては、若年層向けのケータイ小説投稿サイト「野いちご」（会員数：82万人）と20代から40代の女性向けの小説サイト「Berry's cafe」（会員数：65万人）を運営しております。

当第1四半期累計期間は、若年層をターゲットとした恋愛小説レーベル「野いちご文庫」の創刊を含め、戦略的に紙・電子書籍の発行点数を増加させたこと、ライト文芸レーベル「スターツ出版文庫」シリーズ、大人の女性向けの恋愛小説「ベリーズ文庫」シリーズの作品の売上が堅調に推移したことにより、書籍の販売売上は前年同期と比較して増加しております。また、小説投稿サイトの広告売上につきましても前年同期と比較して増加しております。

このような営業活動の結果、投稿コンテンツドメインの売上高は2億64百万円（前年同期比25.3%増）、営業利益は1億6百万円（前年同期比129.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ2億73百万円増加し、48億3百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が1億59百万円増加した一方で、売掛金が70百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べ1億27百万円増加し、36億53百万円となりました。

固定資産は、「オズモール」のシステム開発等により無形固定資産が59百万円、親会社株式が74百万円増加したこと等により、前事業年度末と比べると1億46百万円増加し、11億50百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ1億36百万円増加し、9億74百万円となりました。流動負債は、「オズモール」のシステム開発等により未払金が51百万円、季節的要因により賞与引当金が52百万円増加した一方で、書籍販売の好調による返品率の低下に伴い、将来の返品リスクに備える返品調整引当金が40百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べると1億14百万円増加し、7億82百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べると22百万円増加し、1億92百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ1億36百万円増加し、38億29百万円となりました。これは、利益剰余金が80百万円、その他有価証券等評価差額金が55百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度に比べ1億59百万円増加し、14億48百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払73百万円等による資金の使用の一方で、税引前当期純利益1億96百万円、減価償却費31百万円、売上債権の減少70百万円等の資金の増加により、2億78百万円の資金を獲得(前年同四半期は2億27百万円の資金を獲得)いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、「オズモール」のシステム開発等により63百万円の資金を使用(前年同四半期は38百万円の資金を使用)いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により56百万円の資金を使用(前年同四半期は55百万円の資金を使用)いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、平成29年2月13日発表の「平成28年12月期 決算短信(非連結)」に記載しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,289,527	1,448,564
売掛金	1,419,098	1,348,750
製品	33,890	33,205
仕掛品	30,743	38,459
前払費用	22,567	27,582
繰延税金資産	48,222	56,332
関係会社預け金	800,000	800,000
その他	334	337
返品債権特別勘定	△115,093	△96,816
貸倒引当金	△2,964	△2,911
流動資産合計	3,526,326	3,653,504
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	13,127	12,567
工具、器具及び備品(純額)	12,728	19,595
有形固定資産合計	25,856	32,162
無形固定資産		
商標権	2,269	2,325
ソフトウェア	317,234	345,083
電話加入権	2,376	2,376
ソフトウェア仮勘定	50,452	81,766
無形固定資産合計	372,331	431,552
投資その他の資産		
親会社株式	428,434	503,378
投資有価証券	67,080	72,780
差入保証金	92,424	92,424
破産更生債権等	3,118	4,612
貸倒引当金	△3,118	△4,612
その他	18,183	18,183
投資その他の資産合計	606,123	686,766
固定資産合計	1,004,311	1,150,481
資産合計	4,530,638	4,803,986

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	184,029	212,295
未払金	47,953	99,646
未払費用	22,742	30,661
未払法人税等	82,898	80,288
未払事業所税	3,803	961
未払消費税等	27,941	35,531
前受金	27,213	30,305
預り金	34,847	42,886
賞与引当金	18,400	70,900
返品調整引当金	180,514	139,954
ポイント引当金	37,355	39,034
流動負債合計	667,699	782,466
固定負債		
退職給付引当金	3,248	3,958
役員退職慰労引当金	47,900	49,800
繰延税金負債	119,091	138,552
固定負債合計	170,239	192,310
負債合計	837,939	974,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	2,318,534	2,399,098
自己株式	△189	△189
株主資本合計	3,395,344	3,475,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	297,354	353,300
評価・換算差額等合計	297,354	353,300
純資産合計	3,692,698	3,829,208
負債純資産合計	4,530,638	4,803,986

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	968,439	1,072,418
売上原価	649,201	651,488
売上総利益	319,237	420,929
返品調整引当金戻入額	103,061	180,514
返品調整引当金繰入額	102,155	139,954
差引売上総利益	320,143	461,489
販売費及び一般管理費	250,625	270,020
営業利益	69,518	191,468
営業外収益		
受取利息	1,087	1,000
雑収入	2,835	4,424
営業外収益合計	3,922	5,424
経常利益	73,441	196,893
税引前四半期純利益	73,441	196,893
法人税、住民税及び事業税	46,269	72,077
法人税等調整額	△14,298	△13,345
法人税等合計	31,971	58,731
四半期純利益	41,469	138,161

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	73,441	196,893
減価償却費	32,890	31,291
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,005	1,440
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,900	1,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	54,900	52,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,020	710
返品債権特別勘定の増減額 (△は減少)	△19,818	△18,276
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△905	△40,559
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,171	1,678
受取利息及び受取配当金	△1,087	△1,001
売上債権の増減額 (△は増加)	174,187	70,348
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,868	△7,031
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	-	△1,493
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,465	△5,018
仕入債務の増減額 (△は減少)	△42,857	28,266
未払金の増減額 (△は減少)	△3,529	17,101
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,190	7,590
その他の負債の増減額 (△は減少)	18,947	16,207
その他	△208	△1,101
小計	290,460	351,446
利息及び配当金の受取額	1,087	1,001
法人税等の支払額	△63,952	△73,586
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,595	278,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△2,213
無形固定資産の取得による支出	△38,937	△61,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,937	△63,557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△55,413	△56,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,413	△56,266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	133,245	159,037
現金及び現金同等物の期首残高	1,237,814	1,289,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,371,059	1,448,564

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン			
売上高					
外部顧客への売上高	757,508	210,930	968,439	—	968,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	757,508	210,930	968,439	—	968,439
セグメント利益	46,210	46,336	92,547	△23,029	69,518

(注) 1. セグメント利益の調整額△23,029千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン			
売上高					
外部顧客への売上高	808,083	264,334	1,072,418	—	1,072,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	808,083	264,334	1,072,418	—	1,072,418
セグメント利益	112,026	106,222	218,249	△26,781	191,468

(注) 1. セグメント利益の調整額△26,781千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来「東京マーケティングドメイン」、「投稿コンテンツドメイン」、「地域密着ドメイン」の3区分を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期累計期間より「東京マーケティングドメイン」に「地域密着ドメイン」を統合し、「東京マーケティングドメイン」、「投稿コンテンツドメイン」の2区分に変更しております。これは、「地域密着ドメイン」の量的な重要性の低下と「東京マーケティングドメイン」との事業の類似性を鑑み、経営管理体制を見直したことによるものです。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。